

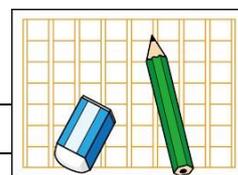
ホップ・ステップ・ジャンプ!



学年の意見発表会を行いました!

GWに2年生の皆さんが書き上げた意見文をクラスで交流し、代表を決めました。そして、7月16日(火)に各クラスで選ばれた代表者による学年の意見発表会を行いました。緊張しながらも、勇気を出して自分の意見を発表してくれた各クラスの代表者の皆さん。どの意見も自分の考えがしっかりとっていて、素晴らしい発表でした。暑い中でしたが、しっかりと目と耳と心で発表を受け止めてくれた聴く側の皆さん。発表を聴いて感じたことをぜひ今後に活かしてほしいと思います。

☆☆クラス代表と意見内容☆☆



代表名	発表内容 (原稿より一部引用)
2年1組 表 祐希	「夢」 「皆さんには、夢がありますか。僕の夢は、サッカーの指導者になることです。」 総合の時間の学習を通して考えた「夢」を持つことの素晴らしさを伝える。
2年2組 竹山 琉愛	「価値のある命に」 「この世になくてもいい命などなく、命にはすべて同じ価値があります。」 近年のニュース等から今一度「命」について考え、その大切さについて問う。
2年3組 森 一乃	「“影”を失くす」 「相手のことを考えながら行動したり話したりすることができているだろうか」 身近な友達の話題を取り上げ、自分たち自身の言葉や行動について振り返る。
2年4組 古川 紗羽	「挑戦と楽しさ」 「やったことのない新しいことに挑戦することで新たな楽しさを発見できる」 金沢見て歩きの英語ミッションを通して、「挑戦することの楽しさ」を実感。
2年5組 竹田 なのは	「理解」 「障がいを持っているからといって決して差別してはいけません。」 差別をなくすには、お互いを「理解」することが大切だと伝える。
2年6組 寺見 奏保	「池袋事故から学んだこと」 「人生百年時代」「周りの人のサポートがあってこそ私は、事故のない、安心、安全な社会をつくっていけると 생각합니다。」 高齢者の運転の是非を問う。



今回発表してもらった6人の中から数名、2020年1月19日(日)に行われる野々市市少年弁論大会に出場する予定です。
決まり次第、再度お知らせいたします。

☆☆感想 ～意見発表会を終えて～☆☆

どの意見文も書いた人それぞれの想いが込められていて、心を動かされる内容だったと思う。この機会を通して、改めていろいろなことを考えてみたい。



たくさんの人たちの意見文を聞いて、考えの幅が今までよりも広がったし、改めてやっぱり大事だな、と思うことがたくさんあったので、これからの将来に生かしたいと思いました。



竹田さんの意見文を聞いて、障がい者だからといって差別していいわけではないし、自分自身も障がいを持つ可能性だってあるのに、どうしてそんなにひどいことをするのか、と共感できました。ぜひ、多くの人たちに聞いてほしいです。

寺見さん。高齢者のことに対して、自分たちも行動していかなければいけないと改めて考えることができ、内容も話し方もとても上手でした。

6人の意見からいろんなことが学べました。その中で私は、「挑戦することの楽しさ」と「命」についての内容が1番心に残りました。命の価値について改めて考えようと思ったし、どんなことでも挑戦していこうと感じました。



森さんの意見文を聞いて、自分の行動や周りの行動を考え直す良い機会となり、周りが〇〇しているからいいのではなく、自分がどう行動するのが大切なんだと伝わりました。心に響くとても良い発表でした。

僕はまだ夢がないけど、表さんの意見文を聞いて夢を考えるきっかけとなりました。

「夢」とか「部活」とか自分のことをテーマにするのもいいけど、ニュースや新聞で取り上げられていたことをテーマにすると、分かりやすく、いいと思った。来年は分かりやすい意見文がいいなと思った。

